

第3回
ご案内

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」



昔から祭りは満月の夜に開かれてきました。“けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」”は、そんな満月の夜に「文明の未来と人類の幸福」について考える会です。高等研の庭にはゲーテの胸像があります。その視線は「フクシマ」のほうを見やりつつ、近代文明の現状を憂いているかのようではありませんか。

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。ゲーテの胸像はその理念のシンボルです。今宵、ゲーテに立ち返りながら、近代科学文明のあり方を一緒に再考してみませんか。

(2013年8月21日開催の発足会案内より抜粋)

日時・場所

○とき: 2013年10月19日(土) 18:00~20:30

○ところ: 公益財団法人 国際高等研究所コミュニティホール・庭園

内容

○お話:

近代科学はこのままでいいのかーゲーテが描くもう一つの近代ー (Part III)

“現代に甦ったゲーテとエッカーマンがFUKUSHIMAについて語る”

京都大学名誉教授・平安女学院大学教授 高橋義人先生がゲーテ役を、また平成24年度日本学術振興会「育志賞」に輝く気鋭のドイツ思想研究者、神戸大学人文学研究科講師 久山雄甫先生がエッカーマン役を務めます。

[要旨]ゲーテの詩「魔法使いの弟子」を読み解きながら、「現代に甦ったゲーテ」にFUKUSHIMAについて、また原発に代わる動力源としてドイツで導入されている「風力発電」や「菜の花栽培」について語ってもらう。
[講師経歴]

高橋義人: 1945年生まれ。京都大学名誉教授、平安女学院大学教授、国際ゲーテ協会元理事。

久山雄甫: 1982年生まれ。神戸大学人文学研究科講師、平成24年度日本学術振興会「育志賞」受賞。

○交流・懇談

参加申込

○「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします。

*なお、参加費用4,000円(交流・懇談会費用を含む)を、当日、申し受けます。

○定員40名(先着順)

主催: 満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」(略称: けいはんな「ゲーテの会」)

後援: 木津川市、精華町

協力: ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川、ドイツ連邦共和国総領事館(予定)、公益財団法人国際高等研究所

事務局: 公益財団法人国際高等研究所事業部 気付 担当: 竹島

参加申込書

- 下記に必要事項を記入してFAX又は郵送でお申し込み下さい。
- E-mailでのお申し込みの場合は以下の内容を記載してメールして下さい。
- なお、申込書記載の個人情報は当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

■ お問い合わせ、お申し込み先

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3
 公益財団法人国際高等研究所事業部気付
 けいはんな「ゲーテの会」事務局（担当：竹島）
 E-mail: goethe0828@iias.or.jp FAX: 0774-73-4005

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」 第3回 2013年10月19日(土)開催

お名前		
ご所属		
部署		
役職		
連絡先	住所	
	TEL	FAX:
	E-mail	

■ 会場案内

